

# 日本語教員養成課程の設置準備と海外教育実習先開拓の報告 A Report on Establishing the Japanese Teacher-Training Course and Developing Schools Overseas for the Teaching Practice

山田 大介、山田 知代

Daisuke Yamada and Tomoyo Yamada

**要旨:** 本論は多摩大学グローバルスタディーズ学部の新カリキュラムにおける新プログラムである日本語教員養成課程の設置に関わる準備の過程をまとめたものである。本学部の日本語教員養成の特色は、他の大学ではほとんど見受けられない海外提携校における日本語教育実習の実施を予定している点である。そこで本稿では、まず日本語教員養成課程のプログラム構成、とりわけ本学部のカリキュラムに新設が必要な科目群を紹介する。そして、海外教育実習を実施するため、中華民国（台湾）の姉妹提携大学（中國文化大學、長榮大學、義守大學）との実習先開拓に係る交渉を中心に記録した。

**キーワード:** 日本語教員養成課程、日本語教育実習、台湾の日本語教育施設

**Abstract:** This paper focuses on the preparation for the Japanese Teacher Training Course, which starts with the new curriculum of the School of Global Studies beginning in 2021. One of the unique points of this teacher training program is that we offer teaching practice to students at sister universities or other educational institutes in Taiwan. So, along with the introduction of this program, including related the course work and its new subjects, the author mainly notates the records of negotiations held at three universities in Taiwan: Chinese Culture University (Taipei City), Chang Jung Christian University (Tainan City), and I-Shou University (Kaohsiung City).

**Keywords:** Course of Japanese-language teachers, Teacher Training program, Japanese education institutions in Taiwan

## 1. グローバルスタディーズ学部における日本語教員養成課程

2022年度入学生より適用される多摩大学（以下、本学）グローバルスタディーズ学部（以下、本学部）の新カリキュラムにおいて、従来までの中学校・高等学校の外国語（英語）の教職課程に加えて、日本語教員養成課程を開始した。

この新課程を開始した理由や背景は多々あるが、大きくは現行の本学部国際教養コース

の一つの目玉となることが考えられたためであった。本学部入学後、国際教養コースでの学修を経て、例えば卒業後に海外で働くことを希望する学生にとって、日本語教員はキャリアパスの一つになり得るからである<sup>1</sup>。また一方で、昨今の公立学校における日本以外の言語文化を背景とする児童・生徒の増加による日本語教育の必要性から、英語の教職課程を履修し、将来教員を志望する学生にも、今後日本語教員のスキルが求められるケースも想定した。これらの理由から日本語教員養成課程を設置した。

### 1.1 新カリキュラムでの日本語教員養成課程設置

本学部で日本語教員養成課程を新カリキュラムの中に組み込むことは、さほど困難なことではなかった。

まず大学において、学生は主専攻（日本語学科等での専門での学修）や副専攻として学ぶことで、大学より日本語教員の課程を修了したとの修了証が授与される<sup>2</sup>。本学部の日本語教員養成課程は他大学の例とは少々異なり、学外的には「副専攻」という形で日本語教員養成課程のカリキュラムを設置した（学内では「副専攻」の名称は使用していない）。

しかしながら、2023年に文部科学省より「日本語教育機関の認定制度と日本語教師の国家資格の創設」と称し、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律案が提出され、2023年5月に成立、一部を除き2024年4月1日より施行されることになっている。同法による本学部の日本語教員養成課程への影響については引き続き注視していく必要がある。

### 1.2 日本語教員養成における設置科目

本学部の日本語教員養成課程は、前述の通り「副専攻」として科目を設置したわけであるが、実際の科目履修に関しては、1年次対象の説明会に参加し、選考に合格した学生のみ履修可能とし、2年次から4年次までの3年間に、以下の表の形で進めていくこととなっている。

表：日本語教員養成課程の主な行事予定

学年	実施時期	行事	備考
1 年	4 月	教職課程説明会（日本語教員養成課程説明会も含む）	課程についての説明
	3 月	日本語教員養成課程説明会 選考等（2 年次より履修開始）	課程についての説明及び選考
2 年	9 月	履修指導	
	2 月	日本語教員養成課程継続許可審査	
	3 月	教育実習説明会	教育実習について説明
3 年	4 月～7 月	教育実習先決定	提携の海外大学もしくは高校を想定
4 年	10 月～2 月	教育実習説明会 教育実習	実習後、発表会を実施
	3 月	卒業式	修了証書授与

（出典 多摩大学グローバルスタディーズ学部日本語教員養成課程ハンドブック）

日本語教員養成課程の科目は、文化庁の示す指針を基に設置している。文化庁は「日本語教師養成における教育内容」として、3 領域、5 区分、16 下位区分を提示している。この 3 領域とは「社会・文化・地域に関わる領域」「教育に関わる領域」そして「言語に関わる領域」である。そして、それぞれの領域に付随して「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語と教育」「言語」の 5 区分が置かれている（詳細は文化庁国語科（2023）を参照）。この区分を基にした科目を各大学が設置し、各大学が定める科目を履修し、修了要件に定める単位数を修得していくわけであるが、「日本語教育実習」に関しては、所定の単位を修得した 4 年次を対象に学外の日本語教育機関で実施することとなっている。

この区分に見合う設置科目について、本学部の場合、「言語と教育」「言語」以外の区分の科目は新カリキュラムに設置している科目でほぼ補うことが出来た。そのため、日本語教員養成課程を設置するために、この 2 区分の科目設置が求められた。まず「言語」区分に関しては、設置済みの外国語科目（英語科目、中国語や韓国語、スペイン語の第二外国語科目）の他に「日本語学概論」「日本語史概論」「日本語学（音声・音韻）」「日本語学（文法）」の 4 科目を 2 年次の履修科目として新規に設置した。ただし、これらの科目は、学生の興味の幅を待たせる目的で、日本語教員養成課程履修生のみでなく、国際教養コースの専門科目としても開講した。また、「言語と教育」区分に関しては、日本語教員養成課程履修者のみの科目として、「日本語教育事情」「日本語教育法」（ともに 3 年次履修科目）、「日本語教育実習指導Ⅰ」「日本語教育実習指導Ⅱ」「日本語教育実習」（ともに 4 年次履修科目）の各科目を設置した。

### 1.3 日本語教育実習

本学部で日本語教員養成課程を設置するに当たっての大きな目玉として、日本語教育実習を国外の日本語教育施設にて実施することを想定していた。これは新カリキュラム策定時よりの計画であった。そのため、実際に本学が姉妹提携をしている国外の協定校や関連する高等学校などでの教育実習が可能であるかを早期に調査をする必要があった。詳細は以降の章にて記す。

## 2. 教育実習先の開拓

本学部にて日本語教員養成課程を開設するに当たり、他との異なる魅力を出すという観点から「海外での教育実習の実施」を掲げている。とはいえ、履修学生に多くの経済的負担をかけないようにするために、近隣の台湾国内の提携大学での実習の可能性を模索することにした。日本語教員という性質から、将来的には日本国外で勤務する可能性もあることから、国外での教育経験を学生に体験させることは卒業後のキャリア形成に有利に働くと考えている。そこで、2022年度は台湾（中華民国）にある本学部提携校に対象を絞り、事前に打診をしてポジティブな回答を頂いた3大学と交渉を行った。交渉は2023年3月に筆者（山田大介）が訪台し、各大学の日本語学科系の部署の長と話をする機会を得た。各大学には2025年度より実施の日本語教員養成課程における「日本語教育実習」の受け入れに関する依頼を行った。3大学合計で、最大10名程度の教育実習実施者を想定した形で交渉を行った。

今回は、中國文化大學（台北、実際には新北市）、長榮大學（台南市）、義守大学（高雄市）に事前にアポイントメントを取り、担当部署を訪問した。結論として、上記3大学のうち、2大学に了承いただき、1大学からは前向きに検討するという回答を得た。

### 2.1 中國文化大學

中國文化大學（Chinese Culture University）は、台北市の郊外にある士林区の陽明山の山中にある私立の総合大学である。キャンパスは陽明山の国家公園（日本でいう国立公園）内にあり、キャンパスからは台北市内を見渡せ、美しい景観の中にあるキャンパスである。本学は中國文化大學と長きに渡り姉妹提携を結び、相互に学生を交換留学生として派遣してきている。後述の先生方曰く、「中國文化大學は戦後、蒋介石氏の側近が設立した大学で、戦後直後からロシア語、日本語、韓国語を東アジア重要3言語として設定し、戦後台湾における日本語教育の中心的役割を果たしてきた。現在の台湾国内の日本語学科の教員の多くは何かしらこの大学と関わりがある」とのことである。台湾における特に戦後の日本語教育の中心であるといっても過言ではない。

### 2.1.1 中國文化大學：訪問時の記録

事前のアポイントメントにより 2023 年 3 月 16 日に訪問し、林孟蓉准教授（東アジア課長（国際部、日本語学科）、陳順益副教授（日本語文學系、日本研究中心主任）のお二人にお会いした。肩書が多いため詳細の説明は省略するが、林孟蓉准教授、陳順益副教授共に中國文化大學の卒業生であり、勤務年数は 30 年以上に渡るとのことである。

中國文化大學では戦後の開学以来、日本語学科を中心に日本語教育が長きに渡り行われ、同時に台湾における日本語教員育成も行われているという。日本で実施されている教員養成とは異なる台湾独自の制度があるとのことであった。その中で、現在は日本の大学からの教育実習生を受け入れているとお聞きした。具体的には、2019 年度より中京圏の私立 A 大学の依頼により教育実習生の受け入れを開始し、数名の学生が来校していたが、その後コロナ禍で中止となった（2023 年度より再開予定）。また、関西地区の私立 B 大学からも打診があるとのことである。このように、日本人学生の教育実習受け入れに好意的であることから、本学学生の受け入れに関しても歓迎して頂いた。日程的にも柔軟に対応可能で、他大学の学生と重複しても問題ないという力強いお言葉も頂いた。

教育実習期間中の滞在先や実習費用に関しても交渉を行った。まず、キャンパス内の学生寮は収容人数の問題で開放出来ないとのことであった。2019 年度の A 大学よりの学生は、約 10 日間の実習中に、キャンパスの麓にある士林周辺の安価なホテルに滞在していたとのことである。ポストコロナの台北市内の物価高を考えると、長期間の実習は経済的にも難しいと感じたが、後述の 2 大学とは異なり台北郊外にあることから、地理的にはアクセスが非常によい。また、実習費用に関しては、現在、A 大学へは費用請求をしていないが、一方で B 大学からは、今後のことを考えて実習費用を請求して欲しいとの申し出があったとのことである。本学としても同様な立場であることを伝えた。また、日本語教育実習と並行しつつ、中国語（台湾華語）の学習クラスを履修してみたらどうかという提案を受けた。日本語教育実習をしながら、中国語学習を兼ねるというプランも一案であると感じている。

台北という大都市に位置する中國文化大學での実習は、都会で過ごしたいと考える学生にとっては良い環境かもしれない。また中国語学習を並行しながら実施出来ることも実習生にはメリットと考えられる。しかしながら、士林などの麓のホテルに滞在する必要があり、そのために滞在費が高くなること、そして士林からキャンパスまで 20-30 分のバス移動が必要になることは検討を要する事項といえよう。

## 2.2 長榮大學

長榮大學（Chang Jung Christian University（CJCU））は、台湾南部の台南市郊外に位置する私立大学である。1993 年、台湾キリスト教長老教会を母体に建学された、比較的新しい大学である。それでも長榮大學の起源は 100 年以上前の 1885 年に開校した長榮高級中学にまで遡るという。現在は、1 万人弱の学生数を有し、62 の学士課程、16 の修士課程と博士

課程を置く大学である。キャンパス内には台湾鉄道の長榮大學駅があり、台南駅から 20 分程度、台湾高速鉄道の高鐵台南駅からも 1 駅（3km 程度）という、郊外にありながらも交通の便はすこぶるよい（長榮大學（2023））。

本学と長榮大學は、2020 年に姉妹提携（MOA）を締結したが、コロナ禍によりそれ以降の関係は停止したままであった。しかし、2023 年に学生の交換留学などの締結（MOU）を実施し、今後は学生交流などを進めていくこととなる。

### 2.2.1 長榮大學：訪問時の記録

中國文化大學同様、事前のアポイントメントにより 2023 年 3 月 14 日の午前中に訪問した。今回は本学学生が参加している「中国語・中国文化研修」の日程に併せての訪問となった。長榮大學の本学の窓口である河村將助理教授の案内で、応用日語学系の吳幸芬副教授（応用日語学系主任）と面会した。

現状では、応用日語学系へは京都の私立 C 大学から「日本語教育実習」という形で実習生が来ているとのことであった。2023 年度も 2～3 名の当該大学の学生が来学の予定とのことである。そのため、本学からの学生についても受け入れる体制が出来ており、受け入れることは歓迎とのことであった。

中國文化大學と同様、滞在先と実習費用に関して議題に上がった。長榮大學のキャンパス内には、3 棟の学生寮があり、それぞれ男女別棟で、出入口には警備員が常駐し、ランドリーなどの施設も充実している。実習生は大学院生が使用するような 1 人部屋を基本として使用することが可能とのことである。また寮費は 2－4 人部屋の場合でも 1 泊 200 元（1000 円）程度で利用でき、比較的安価に滞在することが可能である。キャンパス内には、3 食利用可能な学生食堂やコンビニエンスストア（セブンイレブン等）があり、多くのことをキャンパス内で済ませることが可能である。大学周辺にも飲食店があるため、生活には全く問題ない。また実習費用に関しては C 大学と同様にということで今後の協議事項とした。

長榮大學での実習に関しての一番のメリットは安価な滞在費であろう。キャンパス内の学生寮に安価で滞在可能であること、また食費なども安価に済むことであり、これらは滞在するには大きな利点である。また台北市外でありながら交通の利便性がよいことも利点であろう。もちろん日本の大学を既に受け入れている点も利点であることは言うまでもない。

### 2.3 義守大學

義守大學（I-Shou University）は台湾南部の高雄市の郊外に本部を置く私立大学である。義联集団の創始者の林義守氏によって 1986 年に建校され、1997 年には義守大学と改称された。義守大学は国際学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、言語学部、原住民族学部など 9 学部、43 学科、15 の修士課程、7 つの博士課程を有し、約 15000 人の学生が通う大



規模大学である（義守大学（2023））。本学部の学生も交換留学生として頻繁に行き来している。

前述の通り高雄市郊外に所在する大学ではあるが、大学の敷地内や周辺には、ショッピングセンターやアミューズメント施設である「義大世界」があり、とりわけホスピタリティ系の学部の学生の実践的学び場になっている。キャンパス自体も広大であり、今回訪問した国際処が入る建物は、義守大学メインキャンパスの入口ゲートから急坂を10分程度登っていくような場所にある。

### 2.3.1 義守大学：訪問時の記録

事前のアポイントメントにより2023年3月14日の午後に訪問し、応用日語学系主任の楊佩蓉副教授と面会した<sup>3</sup>。義守大学と本学との交換留学生のやりとりのお礼をしつつ、日本語教育実習の受け入れについて話をした。

義守大学は、他大学からの実習生の受け入れに関して前例がないとのことであったが、上記の長榮大学などの事例を含めて話をしたところ、好意的に受け入れてもらうことができ、前向きに検討するとのことであった。3週間程度という実習期間に関しても問題はなしとのことであった。

また、上記の2つの大学と同様に、大学寮の使用と教育実習費用に関して、まず寮の使用に関しては問題なく使用することができ、特に大学院生が使用するような1人部屋等を利用できるように取り計らうことは可能であるという。また、教育実習費用に関しては、前例が無いため、今後検討するとのことであった。

上記3大学の訪問を終え、快く受け入れを表明してくださったり、前例のない大学においては前向きに検討してくださったりと、どの大学もかなり好意的な反応が得られたのは大きな収穫であった。ただし、実際に本学学生が3週間を過ごす環境は3大学とも異なる。一番大きな問題は、滞在費用の問題である。中國文化大学（2.1節）では学生寮の使用ができず、麓の士林周辺に宿泊し、バスで大学に通学しなくてはならない。台湾国内でも台北は他の地域と異なり非常に物価の高い場所である。都会で生活できるというメリットはあるかもしれないが、経済的に厳しい学生には難しいのではないかと感じた。その一方で、長榮大学（2.2節）、義守大学（2.3節）に関しては、大学寮の使用が可能である点、台南市や高雄市ということで生活費も日本でのそれと比べても3分の2程度であることから経済的には過ごしやすいのではないかと考える。とりわけ長榮大学は、台南市内中心部へのアクセスも非常に優れているので（高鐵台南駅が隣駅である）、学生は生活しやすいと考える。さらに長榮大学は、実習生の受け入れに関する前例があることもプラスに評価できる。

### 3. 日本語教育関連図書の購入

前節の教育実習先の開拓と並行して、本学部では日本語教員養成課程の履修者の学修が既に開始されている。そこで日本語教員養成課程履修学生のために、授業以外での自学的学習を支援する目的で、日本語教育関連の書籍を準備した。具体的には「みんなの日本語」「やさしい日本語」等、日本語教育の教科書のシリーズから始まり、日本語教員になるために情報共有可能な書籍など約 40 冊を購入した<sup>4</sup>。書籍は教職支援室に配架し、日本語教員養成課程の履修者にはいつでも手に取って閲覧可能としている。

### 4. まとめと 2023 年度へ向けて

2022 年度の多摩大学グローバルスタディーズ学部の共同研究費を利用し、日本語教員養成課程設置に関わる研究調査と教育実習先の開拓を行った。具体的には、本学部の日本語教員養成課程の目玉としている海外の協定校での教育実習と、学生が自学用に学習可能な書籍類の配架に係る作業である。2023 年度も引き続き、日本語教員関連の書籍の配架充実はもちろんのこと、教育実習の実現のために海外協定校との間での折衝を続けていくこととなろう。また、日本語教員養成課程の設置科目、特に 3 年次以降の科目である「日本語教育事情」「日本語教育法」「日本語教育実習指導Ⅰ」「日本語教育実習指導Ⅱ」の科目整備も同時に行っていきたい。さらには、例えば国際交流基金が実施する「日本語パートナーズ」のようなプロジェクトに日本語教員養成課程の学生を派遣できるようなシステムも構築していき、卒業後には日本語教員としての道が広がるような方策を構築していくことも必要であると考ええる。まだまだ多くの検討事項が残されている状況である。

### 注

<sup>1</sup> 昨今の国内外の日本語教員の需要は大きい。しかしながら、昨今では本学部のような日本語教員養成を「副専攻」の形で修了するだけでは、実際にすぐ日本語学校で勤務することは難しい。通常はこの後に日本語教育能力検定試験を受験するか、もしくは大学院にて言語学や日本語教育学を学ぶことなどが一般的である。

<sup>2</sup> 日本語教員の資格は、教員免許状のように免許状が発行されるわけではない。文化庁によると、日本語教員になるためには以下の方法が提示されている。ただし大学卒業以上であることが前提である。

① 文化庁届出受理の日本語教師養成講座を受講する

② 日本語教育能力検定試験に合格する

③ 大学や大学院で主専攻または副専攻として学ぶ（本学部はこれに該当）

ただし、後述するように、日本語教育機関の認定制度の創設に関する改変にて、変更点が生じている。詳細は文化庁（2023）を参照願いたい。

<sup>3</sup> 義守大学の訪問の後、国立高雄大学との間で姉妹提携を締結することになり、そのお礼と挨



拶を兼ねて、国立高雄大学を訪問し、王文楷副教授（金融管理学系）と吳行浩教授（國際事務處 國際長）と面会した。

<sup>4</sup> 今回購入した書籍類は以下の付録に一覧で示した。

### 〈執筆分担〉

山田知代が1章、山田大介が2章以降の執筆を担当した。

### 参考文献

- 文化庁．(2023)「認定を受けた日本語教育機関の教員の資格制度」文化庁ホームページ．Retrieved October 6, 2023, from [https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/nihongo\\_kyoin/pdf/93782901\\_02.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/nihongo_kyoin/pdf/93782901_02.pdf)
- 文化庁国語課．(2023)「日本語教育機関の認定制度の創設等」文部科学省ホームページ．Retrieved October 6, 2023, from [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/hyoka/kekka/1421037\\_00012.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/hyoka/kekka/1421037_00012.htm)
- 長榮大學．(2023)「大学の概要」長榮大學ホームページ．Retrieved October 6, 2023, from <https://www.cjcu.edu.tw/ja/about.php>
- 義守大學．(2023)「基本數據及趨勢」義守大學ホームページ．Retrieved October 6, 2023, from <https://www2.isu.edu.tw/ipages/336-1-17162.html>

### 付録

本共同研究費を利用して日本語教員養成課程の履修学生向けに購入した書籍一覧

- 大隅紀子，奥村三葉子，眞鍋雅子．(2022)『日本語を教えてみたいと思ったときに読む本』コスモピア．
- 高嶋幸太，関かおる（編）．(2018)『日本語文法を教えるためのポイント 30：初級者の間違いから学ぶ』大修館書店．
- 益田美樹．(2021)『日本語教師になるには』ぺりかん社．
- 太田陽子（編）．(2021)『超基礎・日本語教育のための日本語学』くろしお出版．
- 深澤のぞみ，本田弘之（編）．(2021)『日本語を教えるための教授法入門』くろしお出版．
- 郡史郎．(2020)『日本語のイントネーション：しくみと音読・朗読への応用』大修館書店．
- スリーエーネットワーク（編）．(2012)『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク．
- スリーエーネットワーク（編）．(2016)『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 教え方の手引き』スリーエーネットワーク．
- スリーエーネットワーク（編）．(2012)『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版標準問題集』スリーエーネットワーク．
- 平井悦子，三輪さち子．(2012)『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版書いて覚える文型練習帳』スリーエーネットワーク．
- 平井悦子，三輪さち子．(2013)『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版書いて覚える文型練習帳』スリーエーネットワーク．
- スリーエーネットワーク（編）．(2012)『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版翻訳・文法解説英語版』スリーエーネットワーク．
- スリーエーネットワーク（編）．(2013)『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版本冊』スリーエーネットワーク．

- スリーエーネットワーク (編). (2016) 『みんなの日本語 初級Ⅱ 教え方の手引き』 スリーエーネットワーク.
- スリーエーネットワーク (編). (2013) 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版標準問題集』 スリーエーネットワーク.
- スリーエーネットワーク (編). (2013) 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版翻訳・文法解説英語版』 スリーエーネットワーク.
- 独立行政法人国際交流基金(編). (2013) 『まるごと日本のことばと文化 入門 A1 りかい』 三修社.
- 独立行政法人国際交流基金 (編). (2013) 『まるごと日本のことばと文化 入門 A1 かつどう』 三修社.
- 独立行政法人国際交流基金 (編). (2014) 『まるごと日本のことばと文化 初級 1 A2 りかい』 三修社.
- 独立行政法人国際交流基金 (編). (2014) 『まるごと日本のことばと文化 初級 1 A2 かつどう』 三修社.
- 独立行政法人国際交流基金 (編). (2014) 『まるごと日本のことばと文化 初級 2 A2 りかい』 三修社.
- 独立行政法人国際交流基金 (編). (2014) 『まるごと日本のことばと文化 初級 2 A2 かつどう』 三修社.
- 独立行政法人国際交流基金 (編). (2015) 『まるごと日本のことばと文化 初中級—A2/B1』 三修社.
- Jリサーチ出版編集部. (2019) 『やさしい日本語初級1: CD付/音声ダウンロード付』 Jリサーチ出版.
- Jリサーチ出版編集部. (2019) 『やさしい日本語初級2: CD付/音声ダウンロード付』 Jリサーチ出版.
- Jリサーチ出版編集部 (編). (2019) 『やさしい日本語初級3: CD付/音声ダウンロード付』 Jリサーチ出版.
- Jリサーチ出版編集部 (編). (2020) 『やさしい日本語初級4: CD付/音声ダウンロード付』 Jリサーチ出版.
- 坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子. (2020) 『初級日本語 げんき1 第3版』 ジャパンタイムズ.
- 坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子. (2020) 『初級日本語 げんき1 ワークブック 第3版』 ジャパンタイムズ.
- 坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子. (2020) 『初級日本語 げんき2 第3版』 ジャパンタイムズ.
- 坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子. (2020) 『初級日本語 げんき2 ワークブック 第3版』 ジャパンタイムズ.
- ブレット・メイヤー. (2018) 『はじめてのひらがな・カタカナ: Let's Explore HIRAGANA & KATAKANA』 Jリサーチ出版.
- 秋元美晴(監修). (2019) 『日本語を学ぶ外国人のためのこれで覚える! 漢字字典 2500』 ナツメ社.
- イカロス出版. (2021) 『日本語を教えよう!: 外国人に日本語を教えたい人のための完全ガイド 2022』 イカロス出版.